

問1 一年の中で、最も気温が高い月と低い月の差のことを何という？

1. 降水量 2. 日較差 3. 気温減率 4. 年較差

問2 イスラム教の信者が年に一度行う、日の出から日没まで飲食を断つ宗教的な行事を何という？

1. メッカ巡礼 2. 礼拝 3. ラマダン 4. 喜捨

問3 イスラム教の礼拝所で見られる、ドーム型の屋根や尖塔（ミナレット）を特徴とする建築物を何という？

1. 聖堂 2. 寺院 3. 教会 4. モスク

問4 一年中高温多湿で、背の高い樹木が密生している森林地帯のことを何という？

1. 硬葉樹林 2. 照葉樹林 3. 熱帯雨林 4. 落葉広葉樹林

問5 タイやミャンマーなどで広く信仰されている、個人の修行を重視する仏教の宗派を何という？

1. 密教 2. 大乘仏教 3. 禅宗 4. 上座部仏教

問6 赤道付近の熱帯で、一年を通して発生する激しいにわか雨のことを何という？

1. 季節風 2. フェーン 3. モンスーン 4. スコール

問7 北アメリカにあるステップ気候の草原地帯を何という？

1. パンパ 2. カンボ 3. プレーリー 4. セラーノ

問8 冬の寒さが厳しく、地面の下が一年中凍結したままの土地のことを何という？

1. 溶岩台地 2. 地下水 3. 堆積岩 4. 永久凍土

問9 乾燥帯で見られる、短い雨季に短い草が生える程度の草原地帯を何という？

1. サバナ 2. ツンドラ 3. タイガ 4. ステップ

問10 遊牧で得られる家畜の体からとれるものの中で、衣類や防寒具の原料になるものを何という？

1. 羊毛 2. 皮革 3. 乳製品 4. 毛皮

問11 ステップ気候の地域で、羊や牛などを飼育しながら移動する生活スタイルを何という？

1. 放牧 2. 遊牧 3. 集約的農業 4. 企業的牧畜

問12 キリスト教がヨーロッパ各地に広まるきっかけとなった、古代の地中海世界を支配した大帝国を何という？

1. ビザンツ帝国 2. 神聖ローマ帝国 3. ローマ帝国 4. フランク王国

問13 タイガの地域において、森林資源を利用して木材を生産する産業を何という？

1. 商業 2. 鉱業 3. 林業 4. 漁業

問14 ヨーロッパの南部に広く分布している、キリスト教の三大宗派の一つを何という？

1. プロテスタント 2. カトリック 3. 聖公会 4. 正教会

問15 降水量が少なく農業に適さない地域で見られる、乾燥した草地や荒野が広がる気候帯を何という？

1. サバナ 2. ステップ 3. パンパ 4. プレーリー

問16 砂漠などの乾燥地域で、地下水や河川の水を利用して作物を育てる農業を何という？

1. 地下水 2. 湧水 3. 塩湖 4. オアシス

答え合わせ・解説

| | | |
|-----|---------------|---|
| 問1 | 答え 4 年較差 | 年較差とは、一年のうちの最高平均気温と最低平均気温の差を指します。一般的に、海洋から遠い大陸の内陸部や亜寒帯の地域では、夏の高気温と冬の極寒により、この差が極めて大きくなります。反対に、海洋に近い地域では海水の温度調整機能により、年較差は比較的小さくなる傾向があります。 |
| 問2 | 答え 3 ラマダン | ラマダンはイスラム暦の第9月に行われる断食期間です。信者はこの期間中、日の出から日没まで一切の飲食を断ち、信仰を深め、貧しい人々に思いを寄せます。日没後には家族や友人と食事を共にし、お互いをいたわり合います。 |
| 問3 | 答え 4 モスク | モスクは、信者が礼拝を行うための施設です。特徴的なドーム型の屋根や、高い塔（ミナレット）が備わっているのが一般的です。ミナレットは、礼拝の時間を知らせる呼びかけを行う場所として使われてきました。内部には偶像が置かれず、壁には美しい幾何学模様などが施されていることが多いです。 |
| 問4 | 答え 3 熱帯雨林 | 熱帯雨林とは、赤道に近い地域に分布する、背の高い常緑樹が層状に重なり合って密生する森林のことです。湿度が非常に高く、数多くの動植物が複雑な生態系を形成しています。ブラジルのアマゾン川流域などが代表的な例として知られています。 |
| 問5 | 答え 4 上座部仏教 | 上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乘仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。 |
| 問6 | 答え 4 スコール | スコールとは、熱帯地方で見られる強烈なわか雨のことです。日中、気温が上昇して強い上昇気流が発生すると、積乱雲が急速に発達し、バケツをひっくり返したような激しい雨が短時間降ります。風を伴うことも多く、一過性ですが非常に勢いが強いのが特徴です。 |
| 問7 | 答え 3 プレーリー | プレーリーは、北アメリカの乾燥した地域に分布する大草原です。かつてはバイソンが群れをなして生活していましたが、現在はその広大な土地の大部分が、最新の機械を用いた大規模な小麦栽培地として利用されています。乾燥帯の気候に合わせた土地利用が行われている好例です。 |
| 問8 | 答え 4 永久凍土 | 永久凍土は、たとえ夏になっても地下の凍結層が溶けずに残っている土地を指します。地表のわずかな層だけが季節によって溶けますが、その下はカチコチに凍っているため、水分が土壌深くに浸透せず、湿地になりやすい特徴があります。建物を建てる際にも凍土の影響を考慮しなければなりません。 |
| 問9 | 答え 4 ステップ | ステップとは、降水量が年間を通じて少ない地域に見られる、樹木のない短い草の草原地帯です。雨が降る短い期間にだけ草が一斉に成長し、それ以外の時期は枯れ草となります。砂漠と草原の境界的な環境であり、広大な地域が家畜の放牧地として利用されることが多いのが特徴です。 |
| 問10 | 答え 4 毛皮 | 毛皮や羊毛は、遊牧民にとって非常に重要な資源です。羊、ヤギ、ラクダなどを飼育することで、食料としての乳製品だけでなく、寒さをしのぐための衣服や寝具の材料を得ることができます。これらは生活必需品であると同時に、他の地域の人々と交換するための貴重な交易品でもあります。 |
| 問11 | 答え 2 遊牧 | 遊牧は、羊、山羊、馬、牛などの家畜を連れて、季節ごとに適した水場や草地を移動する生活形態です。定住型の農業に適さない環境を賢く利用する知恵であり、古くから中央アジアなどの乾燥地で発達しました。家畜は食料だけでなく、移動式住居の材料にもなります。 |
| 問12 | 答え 3 ローマ帝国 | ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教えは地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。 |
| 問13 | 答え 3 林業 | 林業は、森林を管理・保護し、木材として加工する産業です。切り出した木材は建築資材として使われるだけでなく、紙の原料となるパルプとしても活用されます。特に北欧やロシア、カナダなどでは、この豊富な森林資源を生かした林業や木材加工業が国を支える主要産業の一つとなっています。 |
| 問14 | 答え 2 カトリック | カトリックはローマ教皇を中心とする教団であり、イタリア、スペイン、フランスなどヨーロッパの南部に多くの信者が分布しています。これに対し、北欧やドイツ北部などはプロテスタント、東欧は正教会が主流という歴史的背景があります。 |
| 問15 | 答え 2 ステップ | ステップ気候は、砂漠気候よりもわずかに雨が多いため、短い草が地面を覆う草原地帯となっています。このような環境では、穀物を育てる農業には不向きですが、草を食べて育つ家畜を放牧することは可能です。そのため、中央アジアやモンゴルなどの地域では、人々が家畜を連れて水と草を求めて移動する遊牧というスタイルが古くから定着しています。 |
| 問16 | 答え 4 オアシス | オアシスとは、砂漠の中で水が得られる場所を指します。古くから、地下水が出る場所や、乾燥地帯を流れる外来河川の流域で農業が行われてきました。ここでは、ナツメヤシや小麦、果物などが栽培され、乾燥地における農耕のオアシスとなっています。伝統的には地下の導水路である「カナート」などが使われてきました。 |